

2009年8月7日  
北海道ガス株式会社

## 北見地区における天然ガス転換作業の完了について

北海道ガス株式会社（本社：札幌、社長：大槻博）では、北見地区において、都市ガス原料を石油系原料から天然ガスに切り替える「天然ガス転換作業」を本年3月9日から進めてきましたが、本日8月7日をもって計画どおり無事完了しました。同作業の実施にあたり、ご協力をいただきました北見市民の皆さまならびに関係各位に心より御礼申し上げます。

北見地区では2007年1月に発生したガス漏れ事故の再発防止策として、保安規程を変更し、保安体制の強化、保安教育の充実、定期的な漏えい検査ならびに保安出動時の対応内容の整備を行い、さらに事故原因となった「ねずみ鋳鉄管」の入替工事および一酸化炭素を含まない「天然ガス」への転換作業の完了時期を前倒しすることとし、全社をあげて取り組んでまいりました。このたびの転換作業完了により、計画していた一連の事故再発防止策が終了しましたが、当社としましては、引き続き、お客さまの安全・安心の確保に万全を期してまいります。

また、この北見地区をもって、1996年（平成8年）から進めてきた当社の都市ガス供給地区における天然ガス転換がすべて完了しました。これにより、全地区で天然ガスの供給基盤が整ったことから、当社では環境性と供給安定性に優れた天然ガスの普及拡大に、今まで以上に努めてまいります。今後とも皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上

## <参考資料>

### ■北見地区天然ガス転換作業の概要

- (1)作業時期：2009年3月9日～2009年8月7日  
 (2)ガスの種類：石油系原料を改質した製造ガス（4B ガス・15.06978MJ/m<sup>3</sup>）から、天然ガス（13A ガス・46.04655MJ/m<sup>3</sup>）に転換  
 (3)作業実績：転換件数 17,370 件  
 器具調整台数 32,929 台 ※ともに8月7日時点の速報値

### ■当社における天然ガス転換実績

転換対象地区	転換期間	転換件数	器具調整台数	原料調達
札幌地区 （札幌市、石狩市、北広島市）	平成8年5月9日～ 平成17年6月10日	442,288	806,647	苫小牧市勇払産の天然ガスを産地から気体のままパイプラインで輸送し、当社の「北広島供給所」等で受け入れています
千歳地区 （千歳市、恵庭市）	平成14年3月5日～ 平成14年5月29日	16,781	29,440	
小樽地区 （小樽市）	平成17年6月20日～ 平成17年12月7日	36,249	69,841	
函館地区 （函館市、北斗市）	平成18年2月11日～ 平成18年12月27日	67,395	126,992	千葉県の東京ガス(株)袖ヶ浦工場からLNG※を内航船で輸送し、当社の「函館みなと工場」で受け入れています
北見地区 （北見市） ※8月7日時点の速報値	平成21年3月9日～ 平成21年8月7日	17,370	32,929	苫小牧市勇払産の天然ガスを産地で液化してLNGタンク・コンテナ貨車で輸送し、北見LNGサテライト基地で受け入れています
全地区計 ※8月7日時点の速報値		580,083	1,065,849	

#### 【天然ガスの輸送方法について】

天然ガスの輸送方法には気体のままパイプラインで輸送する方法と、液体にしてタンカーやローリーなどで輸送する方法の2種類があります。生産地から近い場所へはパイプラインで輸送するのが最も効率的ですが、遠距離の場合には、タンカーやローリーなどで輸送する手段がとられます。

#### ※)LNG(液化天然ガス)

LNGは天然ガスをマイナス162℃まで冷して液化したもので、体積が気体の天然ガスの約600分の1になります。このため輸送効率が上がリ、大量輸送が可能となります。

LNG=Liquefied Natural Gas

#### 【天然ガスとは】

天然ガスの主成分はメタンで、無色・無臭のガスです。地球温暖化の原因といわれている二酸化炭素や大気汚染の原因といわれている硫酸化物や窒素酸化物の発生量が少なく、また、人体に有害とされる一酸化炭素を一切含んでいないため、地球に人にやさしいクリーンエネルギーと呼ばれています。

#### ■天然ガスのクリーン性(燃焼排ガス発生量比較)

